

No. 63

1983.

11. 10

# 岐阜の博物館

編集兼発行

▽501-32 関市小屋名  
(百年公園内)

岐阜県博物館内

岐阜県博物館協会

TEL(05752) 8-3111(代)

振替 名古屋 6 37909



(新潟県自然科学館の常設展示室の一部)

## 博物館とは何でしょうか！

博物館の全国大会が10月13～14日と新潟市で開かれました。第1日目の見学で訪れた新潟県自然科学博物館は、120億円の費用を投入して建設された自然と理工分野の新しい公立博物館、その夜の懇親会々場となった北方文化博物館—豪農の館は、昭和20年に博物館人伊藤文吉氏の英知により出発した古い私立博物館、期せずして、日本の博物館界の多種多様を、複雑な問題を包含した現況を象徴しているようでした。

宇宙から細胞の内部まで、自然のすがた、加えて生活に結びついた物理化学面の理工学内容、それにプラネタリウムまで、しかも映像展示の多用、前者には近代科学技術の最先端を活用した華々しい展示がありました。片や、米どころ越後の明治中期に建てられた千町歩地主・伊藤家の本邸をそのまま保存し、敷地 6000坪・建坪 1200坪の居宅遺構がそのまま残され、すばらしい庭園、3席の茶室、それに古い民家を移築しての保存と、さながら一大野外博物館。邸内には代々の伊藤文吉が収集された古美術品、生活調度品等が展示されています。個人の博物

館思想を基盤にし、長い年月を経て地域に根づいて発展してきた伝統ある博物館でした。

大会の席上、しばしば、『美術館や博物館は～』と発言されるのを耳にし、美術館にかかわる人々は、博物館であるとは考えていないのだろうか？といぶかったりしたものでした。博物館の全国大会に参集した博物館人、その実体、現状の複雑多岐にわたる諸問題の山積、博物館大会のどこに共通性、共通基盤があるのだろうか……とさえ思えてきます。実物資料があることで横につながるのだろうか。教育機関であることだけで同じ基盤に立てるのだろうか。博物館とはいったい何であるのだろうか？という、素朴な原点に立ち返っての疑問を強くするばかりでした。学芸員の資質向上の問題、養成制度の不備が論議されても、その学芸員の実体の未熟さをどうするのかの前提条件の確立は？ 公私立、大小の規模、内容の多種多様さにかかわらず、博物館の抱えている共通の悩みとは何でしょうか。(S.O)

## 久々野町歴史民俗資料館

〒509-32 大野郡久々野町久々野 2270

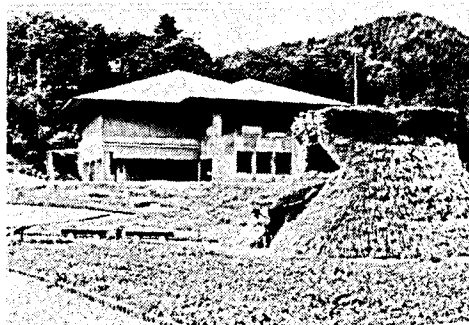
TEL (057752)-3459

飛騨川の上流、大野郡久々野町では、久々野中学校のすぐ南側の高台で、昭和48年から遺跡の発掘調査が行なわれてきました。その結果、今から約5,500年～4,500年前の、縄文時代前～中期の典型的な集落跡が、ほぼ完全な状態で明らかにされました。そのため、昭和55年には国指定の史跡となり、その後集落跡の整備、家屋の復元が行なわれ、「史跡堂之上遺跡」公園として公開されることになりました。

出土品は、縄文時代草創期から晩期まで、長い期間にわたる多種多様なものがあり、土器、石器等にすばらしいものがあります。堂之上遺跡の調査記録、出土品の全てを収蔵するとともに、久々野町内に残されている考古資料・歴史資料・民俗資料を収集・展示・保管することを目的として、この「久々野歴史民俗資料館」は建設されたもので、遺跡公園に隣接し、しっとりとしたムードで、周辺の景観にうまくとけこんでいます。

一階は収蔵庫を主体にし、調査研究室・学習室も設けられています。二階に常設展示として、考古資料展示室、民俗資料展示室の二室があり、遺跡を一望できるゆったりとした「展望バルコ

(考古資料展示室内のようす)

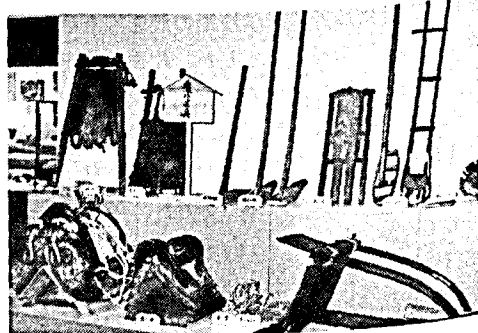


(遺跡公園の片すみに建つ歴史民俗資料館)

ニーもあってすばらしい。

県内の各市町村単位に、今後も次々と、こうした歴史民俗資料館づくりが行なわれていくはずです。その第一の目的は、かけがえのない文化財の散逸を防ぎ、資料を収集・保管することにあることは当然です。しかし、それだけに終始しては、せっかくの考古資料・歴史資料・民俗資料等も、ただ死蔵された遺物にすぎません。学習室等が整備されていることと、市町村民の共有財産としての文化財を、いかに人々の日常生活の中に「学習素材」として生かしていくのか、いわば「博物館学的な」機能面を考えると、久々野町のみならず既存の各資料館等にも共通した、今後の課題がたくさんあるようです。今後とも、当協会を横のつながりの場として、資料館の運営、教育活動等の実践交流、研究研修会への期待が、ますます増大してくるでしょう。開館：午前9時～午後5時、休館日：毎週月曜日、祝日の翌日、12月29日～1月3日。入館料：大人200円、児童生徒100円、30人以上団体は2割引。

(民俗資料展示室内のようす)



## 木曾古文書館

▽509-02 可児市久々利 1644の1  
TEL <05746> 4-1627

可児市街から大萱への入口にあたる山すそに、可児郷土歴史館があります。この西隣りにあるのが木曾古文書館です。大萱は、人間国宝荒川豊蔵氏が、その昔陶片を発見され、志野・織部など桃山時代のすぐれた茶陶が、この地で焼かれたことを立証するきっかけとなったことで一躍有名になったところです。また可児郷土歴史館は、慶長年間から明治まで、およそ260年間、この地にあった由緒ある千村氏の屋敷跡に建てられたもので、木曾古文書館は、その千村家の下屋敷跡に建てられています。いずれにしても、久々利城址、千村氏の菩提寺であった東禅寺、その他、八坂入彦命墓、泳宮、円明寺、古窯跡群等々、可児市久々利を起点とした歴史めぐり、文化財めぐりの出発地ともいえるところにあります。家族連れでの歴史散歩・散策にはもってこいです。

千村家下屋敷春秋園という由緒ある地に、千村家に伝わる諸資料が公開されている意義は高く評価されるものです。徳川家康、前田利家、尾張徳川初代義直、二代光友、紀州初代徳川頼宣、豊臣秀吉、あるいは美濃、尾張各代官・大名などの書状、新井白石、渡辺華山、水谷弓夫など、当家を訪れた人々の絵や書などがところ狭しと展示されています。歴史上の名高い人物

(豊富な資料がピッシリ展示されています)



(春秋園への入口)

の書状であるだけに、見るものの好奇心を十分にゆさぶってくれるのですから、すらすらと読めたらどれほど楽しいかと胸が踊ります。親切によく行きとどいた解説もなされ、文面などもきっちりとした楷書に書き直して展示されています。しかし、悲しいことに、それでも読めないのが多くの方々の実態であり、ましてや子どもたちにとってはなおさらでしょう。全部とまていなくても、小中学生でも読んでわかるような現代口語文の書状におきかえたものも展示されていたら、家族連れでの見学時に、親子の会話も深まるだろうし、こうした古文書のもつ資料の価値、すばらしさが、いっそう具体的に子どもたちにも伝わるのではないのでしょうか。歴史の研究者など専門家だけに関心と呼ぶばかりか、広く一般の皆さんに、古文書類をわかりやすく展示することは、多くの博物館でも、まだまだ不親切なのが現況のように思えます。すばらしい資料が豊富に残され公開されているだけに、歴史散歩の起点として、今後とも博物館学的運営面での充実を望みたいと思います。

(部屋そのものが展示室となっています。)



# 炉畑遺跡公園をたずねて

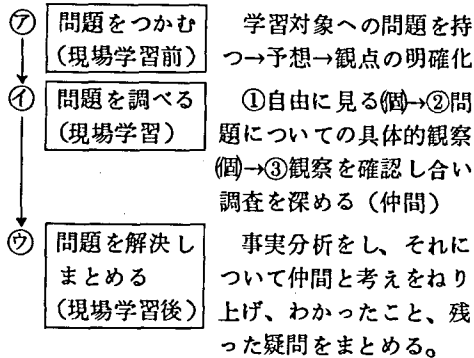
笠松町立松枝小学校 吉村希至

教室から出て、子どもに直接「もの」と対決させ、生の素材を通して追求していく博物館学習は魅力的である。過日、原始時代の人々の生活を知るねらいで、炉畑遺跡公園（各務原市鵜沼三ツ池町）と、その出土品等が展示してある各務原市歴史民俗資料館（同市那加桜町）の博物館学習を行なったので、その実践を報告する。

## 1. 歴史博物館学習にあたって

過去、博物館見学での子どもの言葉を分析すると、「本物」「ものめずらしさ」「予想外の大きさ・形」という意識で見るにとどまる者が多かった。そこで、子どもたちが、自分の問題を自分で追求し自分で確かめる主体的な姿を通して、まず正確にもものを見て、さらに先人の生活に対して正しい認識をもつことができることをねらった。

(1) 問題意識を軸に、博物館学習活動を。



問題意識を軸にした「もの」への連続的な追求過程により、確かにものを見る活動ができる。

(2) 正確にもものを見させる。

実感をともなった正確な観察と、問題解決をしていくための基礎的事実をのがさない観察が必要である。私は現場学習時にいつも1m棒を持たせるが、今回は、居住空間をとらえさせるため1畳分のむしろを持たせた。また許される限り、五感を通しての観察活動を子どもに要求した。後者に対しては、前記①②での働きかけが重要である。

(3) ものを生活の中に、おいて見させる。

展示されているものは、人間の生活の産物である。生活の知恵や人々の生活くささが多少なりともかぎとれる観察が望まれる。そこで今回は、問題場面を設定した中での劇を炉畑遺跡でやらせた。

以上3つの仮説にもとづき、学習を行なった。

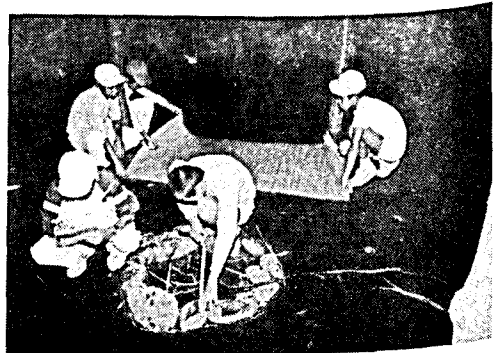
## 2. 実践の経過と考察

(1) 問題をつかむ (現場学習前)

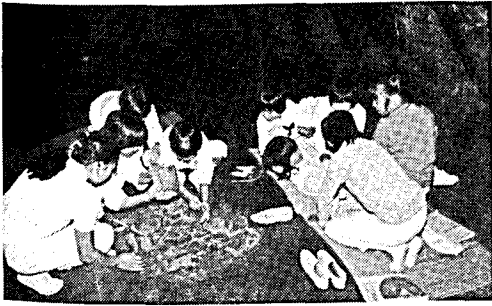
ここでいう問題意識は、縄文時代の生活用具・住居で何を見、何を調べるかというだけではない。ものの背後にある人々の生活の意味をさぐりたいという意識である。年表で炉畑遺跡の時代の位置づけをし、前に学習した縄文時代の生



(炉畑式土器を見る  
— 各務原市歴史民俗資料館にて —)



(住居の大きさを調べる  
— 炉畑遺跡公園にて —)



(縄文時代人の生活劇—住居の中で—)

活をふり返った上で、この写真を提示し、遺跡案内の資料を読んだ。そこから、何を追求したいか設定した。大きく「当時の住居・土器の大きさ、使い方や住みごちを調べたい」「竪穴式住居を作った人々の知恵を調べたい」「遺跡から、縄文時代を生きぬいた人々の生活力や心をさぐりたい」の3つが出された。問題別に、クラスを3チームに分け、予備学習した後、観点と調査方法を話し合い現場学習に臨んだ。

## (2) 問題を調べる (現場学習)

### 〈歴史民俗資料館において〉

本資料館は、先土器時代から白鳳時代までのものが展示されている。ここは炉畑遺跡と組んだ学習を意図しているため、炉畑遺跡に関する縄文時代の展示物を中心に、時代的位置づけを確認し見学した。

炉畑遺跡の出土品は、すべてガラスケース内での展示のため、五感を通しての観察は困難である。それでも、ガラス越しに手をさしのべて炉畑式土器を持って見るなど、子どもたちは体を動かした見方をした。「こんなに大きいものか」「わりに実用的だ」さらに「これなら、かなりのたくわえもできそうだ。」「10人分くらいのいもなら、煮れそうだ。」などと、立体感・使用感を感じとった観察がされていた。

### 〈炉畑遺跡公園において〉

6つの復元住居の外観、周囲・内部を一通り自由に見た後、あるチームの子どもたちは、むしろを手に1つの住居にとりついた。入口は狭いが、9畳分もあり、肩車してもとどかない居住空間、70cm以上も掘りこんである床に対して縄文時代人の住まい作りへの意気を感じとった

ようだ。他のチームでは、住居内で、「秋、狩猟から帰った主人と息子をむかえた家族」という問題場面でのロールプレイで竪穴式住居に対した。ひんやりとした空気と地面からの感触の中で、炉を囲み火を絶やさぬ動作をしながら、「風は入らないけど、じめじめした土だから、むしろを重ねるか。火を絶やささんよにな。」「夏はすごしやすいかしれんけど、冬には毛皮1まいの服では耐えられん。もっとたくさんえものをとってこようか。たくわえもしとかんと、冬ごしはえらい。」「火をたいても、煙がこもらんように工夫したからよかったわい。」などと、教室内では出なかった竪穴式住居の観点や、縄文時代人の生き方にふれるような発言がでた。

## (3) 問題を解決しまとめる (現場学習後)

帰校後、現場学習ノートの成果をチームで交流し、学級で話し合い、まとめを行なった。

「入口の工夫と、いがいな中の広さにはおどろいた。今のぼくたちにはむりだけど、10人ぐらいの家族なら集団生活をしてけそう。家のほりに、資料館でみた吊手土器をかけランプにしたこと、60cmもあった炉をかこんで縄文時代の人たちが生活してたんだなーと想像したら、ワクワクしてきました。」(S男のまとめ)

「むしろの上でねていたら、地面のつめたさがジーと伝わってきました。炉のまわりでげきをやっているうちに、煙ぬきや、カヤのふき方、しぱり方……縄文時代人としてここに住んでいる気になりました。」(U子のまとめ)

## 3. 実践をおえて

3つの留意点での実践であったが、教室内の授業とちがった見方がなされ、縄文時代の追求に深みが増した。今後の課題としては、博物館がまず「もの」を見せる機関であることから、学習者である子どもの観察眼を育てること(視覚教育)に重点をおかなければならないと考える。

### 〔参考資料〕

1. 各務原市教委編刊：炉畑遺跡発掘報告書 (1972)
2. 各務原市教委編刊：かがみはら ふるさとめぐり — 文化財と伝説の地をたずねて (1979)

明方村立博物館長 金子貞二

私たちの村では、なじみやすいし、中身からしてもいちばん似つかわしいということで、資料館のことを博物館と呼んでいます。

今では、村びとはもちろん、近在の方まで、すんなり、博物館と呼んでくださいます。

学校があるように、町や村には、ちゃんとその町や村の博物館があったら、さぞ楽しいことでしょう。そうなったら、どこへでかけても、ちょっとした暇を見つけて、気軽に博物館へのぞいてみるができます。

いちおう形の決まっている学校とちがって、外観も内容も全く自由に構想できる博物館のことですから、入っていけば、独特のカラー、提供者の人柄から、ものの考え方、はては、その町、その村のころまでが、はっきりと伝わってくるでしょう。

こうした博物館の開設をもくろまれる町村が年ごとに増え、不便な私どもの博物館へも、しばしば訪ねてくださいます。

〈だんだんと家の改築が進み、大切な物が、さっぱりなくなってしまうので〉と言われる本格派、〈保存したい建物があるので、どうせのことなら、ついでに物も集めて入れたい〉とおっしゃるついで形、〈なんとか人に寄りついてもらうように〉という観光開発形、動機はまちまちでも結局はよい博物館をつくって後世に遺したいという思い立ちにかわりはありません。

こうした方たちは、館内を一巡しながら、たいていくこは思いつきが早うてよかったと繰り返し、繰り返し申されます。それも一理あることだから、何かと苦勞しておられる当事者の心中を察して同情します。

ところで、5年前、重文申請の際に文化庁の調査官がく調査を急ぐ理由はないのに、あえて対象としたわけは、ここには、人々の精いっぱいのところのみなぎっている〉と言われました。きっと並んでいる一つひとつの物から、提供者のすがすがしい気持ちを感じられたものと思ひ

ます。みんなの、精いっぱい気持ちが溢れていると言われ、いよいよそれが私どもの博物館の身上だとすれば、なんとしてもそのような顔で、いつでもお客さんに接しなければならないと思っています。

郷土の博物館は、その町、その村の顔の一つであることをいなむわけにはまいりませんから、その町、その村の本来の顔を、まともに見てもらえるようにすること、それが当事者に要求される最低の線だと思います。

狭くて、なにかかもというわけにはいかないとなれば、その町、その村の最も個性的な面にしばって掘り下げることによって、かえって、その町、その村の生きいきとした顔が見られるかもしれません。

いずれにもせよ、ぼんやりした顔で、せっかくの来訪者を迎えるということは、たいへん失礼にあたりましょう。

私どものところでは、ここへ移って七年目ですが、年平均1,600点ほどの資料が集まっています。しかも、こんなのがと驚くような貴重な物を手にすることも珍しくありません。決して、思い立ちが遅かったなどと嘆かないで、せいぜい居心地のよい場を準備して待つことです。

さて、以上、大あぐらをかいても申しましたが、では、〈当面する問題点は〉〈活動ぶりは〉などおっしゃられると、返答に窮します。

片手間の館長に、年々交代勤務の女子職員一人、かなりこまめに動いているつもりでも、お客さんへのサービスは最低、資料の受け入れに汗だくです。

かと申して、収入といえば入観料だけ、それもようよう電気料に見合う程度といった次第で、村の予算もこれが限界です。

また、思い出や懐しきでカバーして、不行き届きな点を許してくださるような年配の人たちが、もう来られなくなる20年、30年先のことを思うと、とても安閑とはしておれません。

# 図書紹介

## 岐阜の理科ものがたり

岐阜県小中高自然教育研究会編  
192P. 21cm, 日本標準発行1,400円



ふるさと岐阜県の、大地のおいたちと、そこに現在見られる豊かな動植物の姿が、多くの写真、図表、さし絵入りで、わかりやすく小中学生向けにまとめられた自然読本です。児童生徒向けの物語風読み物とはいえ、そこに盛り込まれた内容は、放散虫がかたるチャート層の年代、日本でいちばん古い化石など、科学の最新情報にもとづいており、大人の科学読物としても興味深く、家庭での親子読書会にもってこいといえます。

生涯学習し続ける人間社会への変貌が著しい今日の情勢をふまえ、全編を通してその基調には、博物館を上手に活用することの大切さ、博物館で学ぶことの楽しさが伝わるよう配慮されており、類書に例を見ないユニークさがあります。巻末の資料として、「岐阜県の理科めぐり」では、県内各地にある自然・理科系の博物館や類似施設の紹介一覧があり、飛騨・美濃二地区に分けた所在絵地図も載せられています。家族での行楽案内の手引きにも役立つことでしょう。その他、理科学習での質問等、どこに問い合わせたら……と迷われた場合の案内として、各種



試験場、研究所等の所在・電話番号も載せられていて親切です。

県内各地に在住で、それぞれの分野で実際に野外活動で調査研究に従事されている小中高校の先生方の分担執筆であるだけに、質的に高いだけでなく、その記述はわかりやすく教育的な配慮がなされている好著です。県内の取扱い店までご注文されるようご案内いたします。

- 井畑書店(飛騨一円) TEL 05777-3-2218
- 二村学習社(益田郡) 05765-2-2820
- 東文堂(美濃加茂・可児市一带) 05742-5-2723
- 花ノ木書房(中津川市, 恵那市・郡) 05732-8-2584
- 双葉商会(瑞浪市) 05725-7-7851
- 各務教材社(多治見市, 土岐市・郡) 0572-23-0397
- 熊樹堂(岐阜・各務原市, 羽島市・郡) 0582-71-0766
- 文盛堂(郡上・武儀郡, 山県郡) 0582-43-1203
- 大野教材社(関・美濃・各務原市, 山県・武儀郡) 0582-43-1234
- 松屋商会(大垣市, 不破・安八・揖斐郡) 0584-27-4123
- 神谷新栄堂(本巣郡) 05832-6-4045
- 松本文具店(養老・海津町) 05843-2-0460

なお本書は、岐阜県小中学校教育研究会小学校理科研究部会、岐阜県学校図書館協議会、岐阜県PTA連合会、それに当岐阜県博物館協会等の諸団体から推せんを受けています。

川島町「ふるさと史料館」オープン

羽島郡川島町の町民会館4階に「ふるさと史料館」が10月29日オープンしました。開館は午後1時30分から4時30分までで入館無料、月曜日が休館です。木曽川の右岸沿いの景勝地であり、町民会館内にはユニークな図書館「本の家」もあり、そのロビーには、木曽川の水鳥を観察できる単眼鏡が設置されています。社会教育施設も住民側の立場に立ってすばらしく充実し、全ての面で先進的な社会教育活動の町だけに、生活と密着した博物館学的な今後の運営が大いに期待されます。館内は「木曽川」「洪水」などのテーマが設けられ、「木曽川の洪水年表」では、全村冠水の1896年の災害をはじめ、713年(和銅6年)から1965年までの増水、洪水の記録がまとめられ、町のあゆみを知ることができます。

羽島市歴史民俗資料館起工

羽島市では、市制30周年を記念して「歴史民俗資料館」を建設することとなり、10月17日、竹鼻町丸の内の建設地で起工式が行われました。総工費1,500万円、来年4月1日にオープンの子定。市内の小、中学校に収集されている民具や市の文化財が中心に、生活用具、産業文化、考古遺物、文化民俗等にまとめられ常設展示されるほか、特別企画コーナーも設けられるはずで。

副会長 郷 浩氏に  
県ユネスコグランプリ文化賞

県ユネスコ協会では、教育・科学・文化・国際各分野で功績のあった個人、団体に、県ユネスコグランプリを贈っていますが、昭和58年度は、文化部門で郷当協会副会長一人が受賞しました。県下の文化財保護活動への尽力、博物館界の発展への努力、長年にわたる郷土史研究の業績が多岐であり、11月8日 岐阜会館で表彰式が行われ、席上郷氏は、「郷土大和村の篠

脇城」について発掘、調査の成果を講演されました。

三県協会交流研究会 三重県で開催

愛知・岐阜・三重の博物館協会交流研究会は、10月24～25日と、名張市赤目町の日本サンショウウオセンターで開催されました。研究会はフリートーキングで、各県の協会活動の情報交換、各出席館園の事業内容の紹介交流等がなされました。これまでとは違い、当番県の三重県内からの参加はあっても、愛知県・岐阜県からの参加はきわめて少なくとても残念なことでした。博物館の学芸活動実践交流会など、博物館活動の最前線で働くものの悩み苦しみの交流の場、日々の実践活動の交流と検討の場、そうした地盤固めの方向をさぐりつつ、新しい三県交流研究会を生み出すべき時期に来ているのではないのでしょうか。どこに問題があるのでしょうか。

岐阜県の博物館要覧(仮称)  
改訂版発行に着手

本誌先号で予告しましたが、来春～夏出版を目指して企画立案中、見本原稿、記入上の諸注意、原稿用紙等を各館園に送付し始めました。類書を越えた充実した内容に仕上げようと編集作成委員一同張切っています。各館園では、写真の精選、記載内容の検討を充分なされ、見開き2ページでうまく自館園の特色を紹介されますよう最善の工夫をされますようお願いいたします。

編集後記

- ◎第31回の全国博物館大会が開催されました。全体会、分科会等で話し合われました博物館活動の諸問題等は、次号にてくわしくレポートします。
- ◎金子貞二先生のつぶやき……地方自治体の歴史民俗資料館づくりが盛んな今日、やはり建物、もの……よりも、まずそこに博物館人がいることの大切さを知らされます。(S.O)